

令和6年度 発注者別工事採算性に関するアンケート結果 (A等級)

○調査対象工事

北陸地方整備局、富山県及び県内市町村発注工事の内、請負金額2,500万円以上(建築は3,000万円以上)でかつ、令和6年4月1日～令和7年3月31日までに完成し採算が把握できる工事。

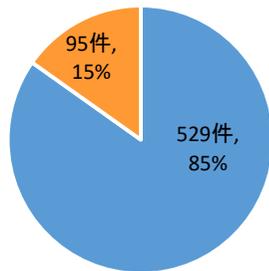
※採算性には本社経費を含めたもの

○対象企業 会員企業のうち県ランク土木A等級または、建築A等級 149社

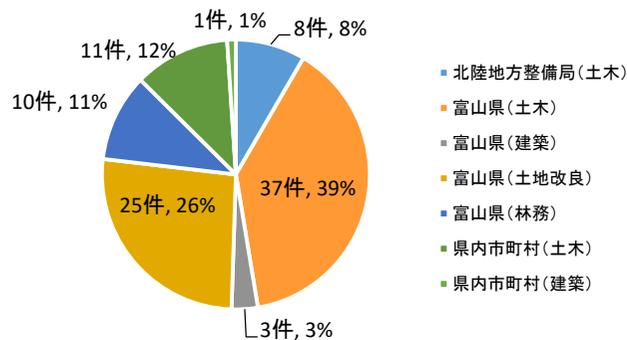
○回答企業数 118社 回答率 79.2%

○調査期間 令和7年6月2日～7月11日

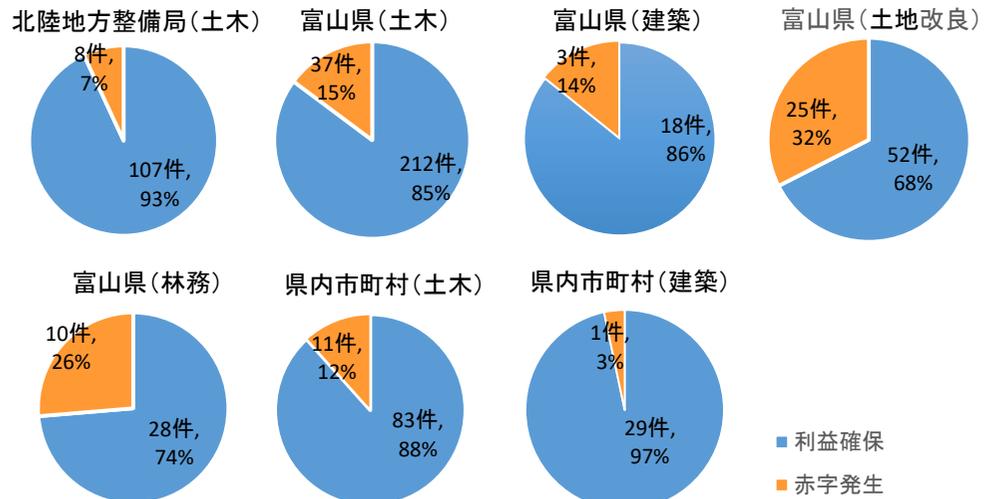
①調査対象工事の状況 (624件、118社)



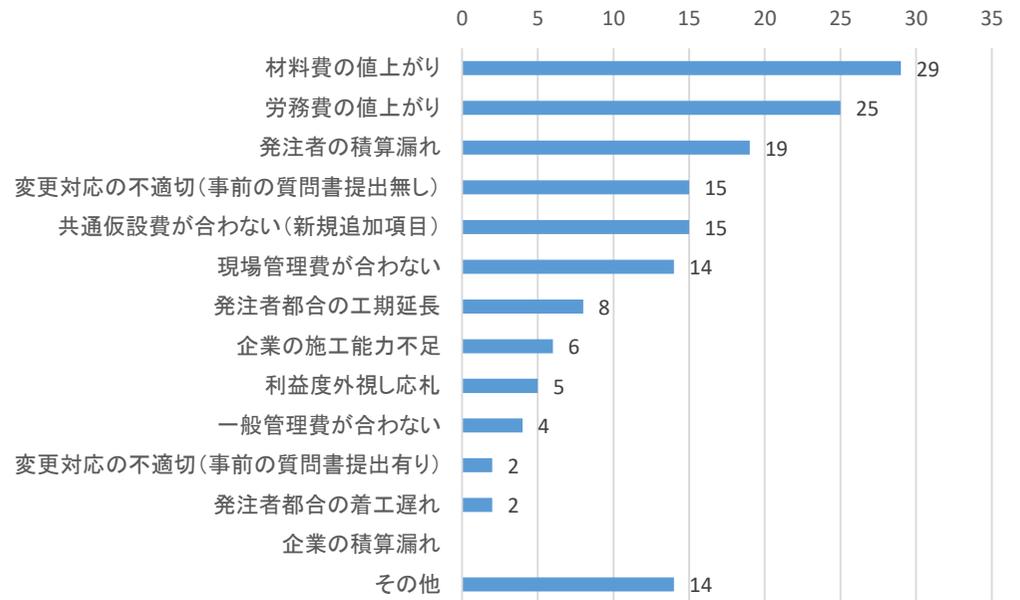
②赤字工事の内訳 (95件、46社)



③発注者別の採算状況 (624件、118社)



④赤字工事の主な発生理由 (3つまで回答可)



令和6年度 発注者別赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)

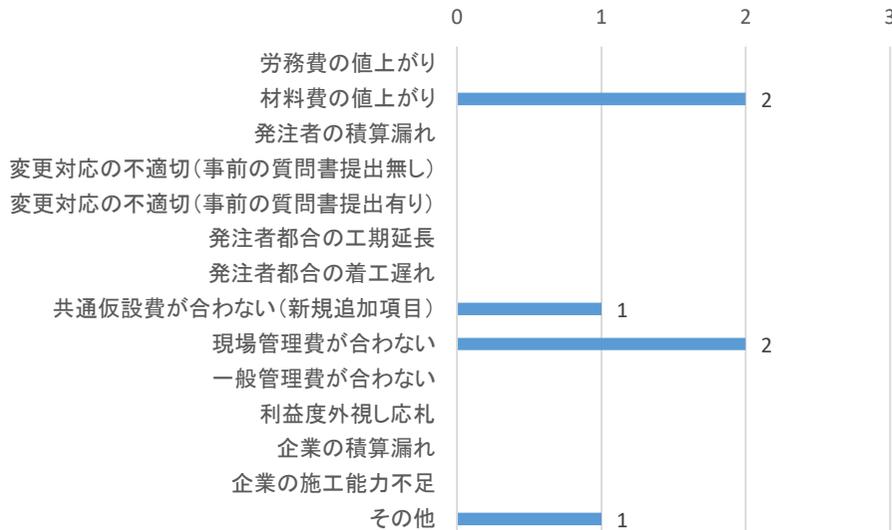
北陸地方整備局(土木) 利益確保107件(93%) 赤字発生8件(7%)



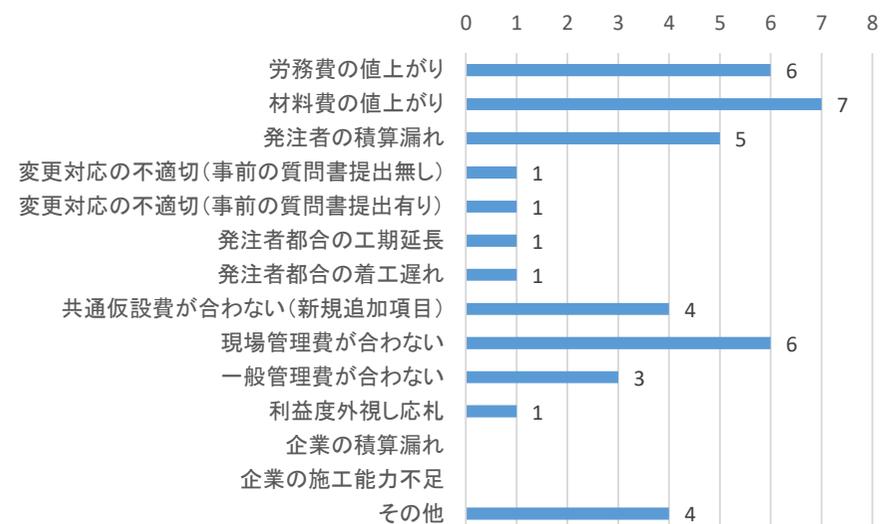
富山県(土木) 利益確保212件(85%) 赤字発生37件(15%)



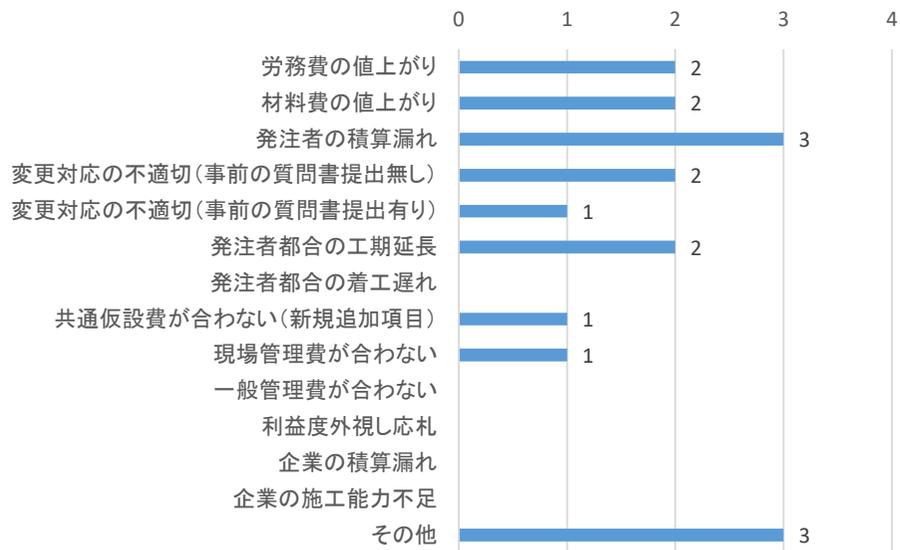
富山県(建築) 利益確保18件(86%) 赤字発生3件(14%)



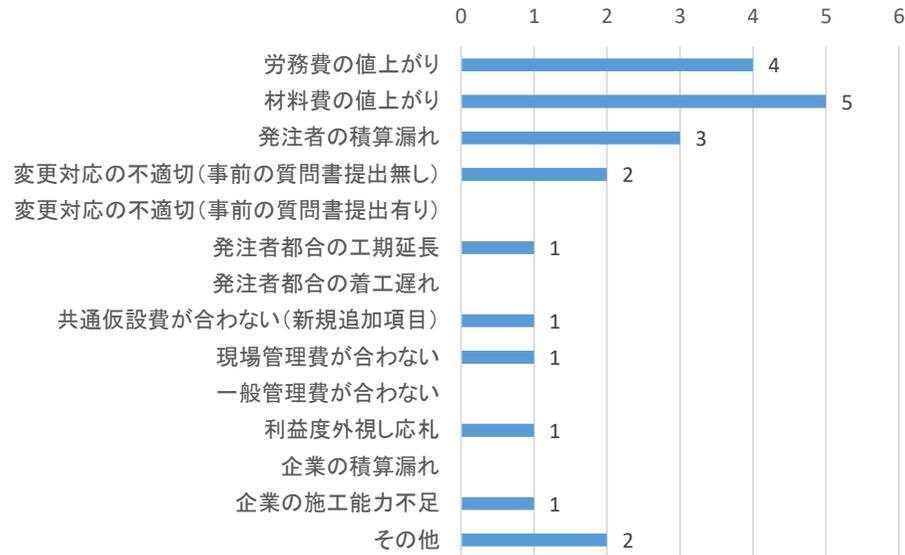
富山県(土地改良) 利益確保52件(68%) 赤字発生25件(32%)



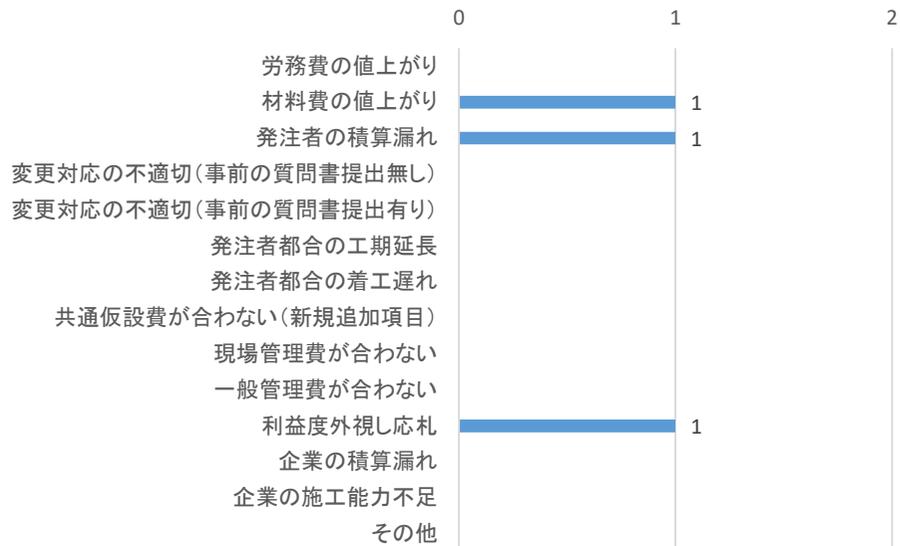
富山県(林務) 利益確保28件(74%) 赤字発生10件(26%)



県内市町村(土木) 利益確保83件(88%) 赤字発生11件(12%)



県内市町村(建築) 利益確保29件(97%) 赤字発生1件(3%)



赤字工事の主な発生理由(その他)

【北陸地方整備局(土木)】

- ・実際に必要だった工程が変更で見てもらえなかった。

【富山県(土木)】

- ・地元対策としての仮設費が増加した。
- ・計上漏れや変更対応が不適切ではなかったが、そもそも発注者の積算歩掛・単価では合わない工事だった。
- ・施工条件に合った歩掛が存在しない。(小規模、小分け施工など)、柔軟な思想で進められる任意仮設が最良であるはずも、設計費と原価とは全く合わない。
- ・概略発注の為、設計内容の協議が多かった為。
- ・仮設の費用にお金がかかる。現場の担当者数を増やすと現場管理費の中に納まらない。直工では納まらず、一般管理費に食い込む。
- ・仮設工事の考え方が経費に含まれているで、実際の現場仮設と合わない。
- ・災害工事の為、状況変化が多くあり仮設工事が想定を超えた。
- ・道路改良工事の諸経費が合わない。
- ・災害が発生し敷鉄板等の期間が延びたため。

【富山県(建築)】

- ・遠隔地で施工業者(金額、工程)の対応が難しい。

【富山県(土地改良)】

- ・土質が悪くRC-40を使用して埋め戻しを行った。土工の一部を人力作業で行った。土留めが必要となり日進量が下がった。
- ・出来形管理や写真管理に求められることが相当に細かいので時間を要する。それゆえに現場作業も止まることが多く、現場の進捗も遅れる。
- ・昨今の人件費の高騰や、働き方改革により現場管理にかかると人員の増加や、物価上昇による賃金上昇の為。そもそもの歩掛が実勢価格と合わない。
- ・歩掛りが合わない、2月の大雪による遅れを取り戻すため、労力機械資材費を費やしたため。
- ・2月の降雪が多くあり1ヶ月以上施工が遅れた為と融雪の為土質替わり施工が困難になった。
- ・社内管理者の想定外の配置換えを余儀なくされたため。
- ・ほ場整備事業の経費が合わない。

【富山県(林務)】

- ・歩掛と施工に乖離がある。(作業効率が悪い)
- ・厳しい気象条件による工事進捗の遅れ。
- ・共通仮設費が合わない。

【市町村(土木)】

- ・災害復旧工事のため、増額の変更が不可能とのことだった。
- ・大雪で施工できない期間が1か月以上続いたが工期延長はなく、除雪費も計上していただけなかった。
- ・共通仮設費が合わない。

発注者別工事採算性に関するアンケート結果（令和5年度と令和6年度の比較）

①調査対象工事の状況（令和5年度 548件 108社、令和6年度 624件 118社）

調査対象工事

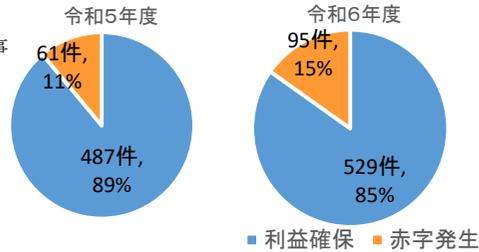
・北陸地方整備局、富山県及び県内市町村発注工事のうち、請負金額2,500万以上（建築3,000万円以上）

<令和5年度対象工事期間>

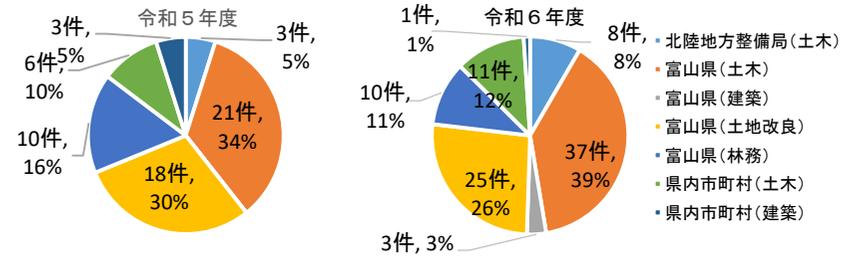
令和5年4月1日～令和6年3月31日

<令和6年度対象工事期間>

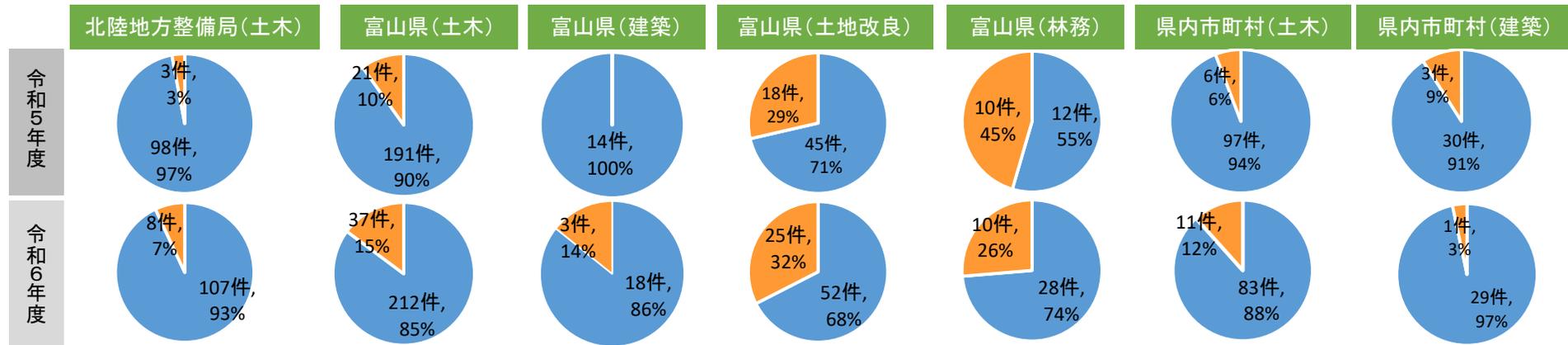
令和6年4月1日～令和7年3月31日



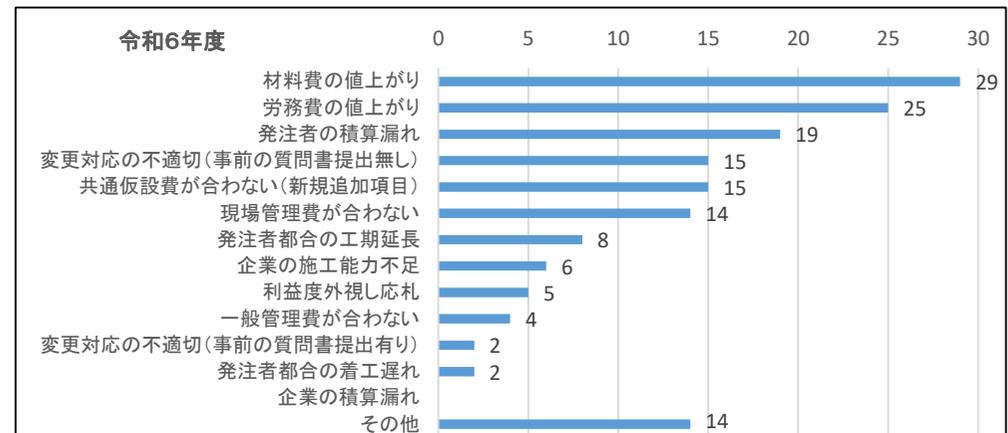
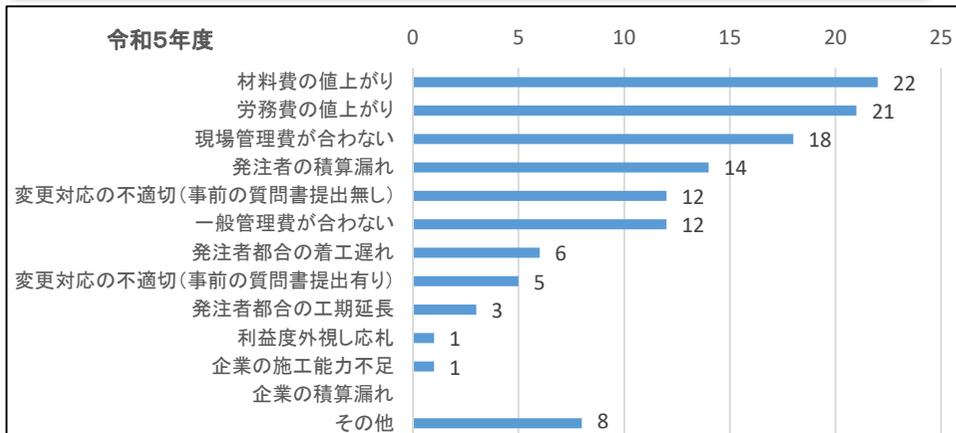
②赤字工事の内訳（令和5年度 61件 30社、令和6年度 95件 46社）



③発注者別の採算状況

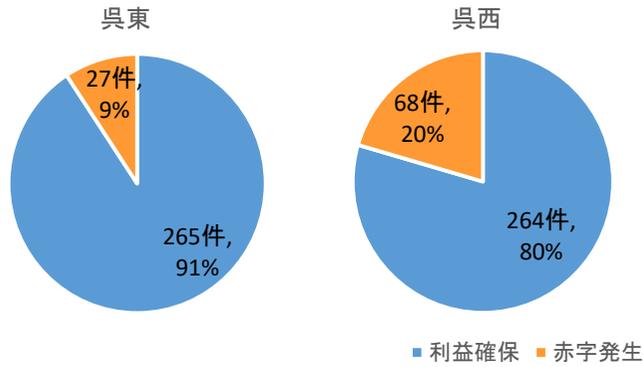


④赤字工事の主な発生理由（3つまで回答可）

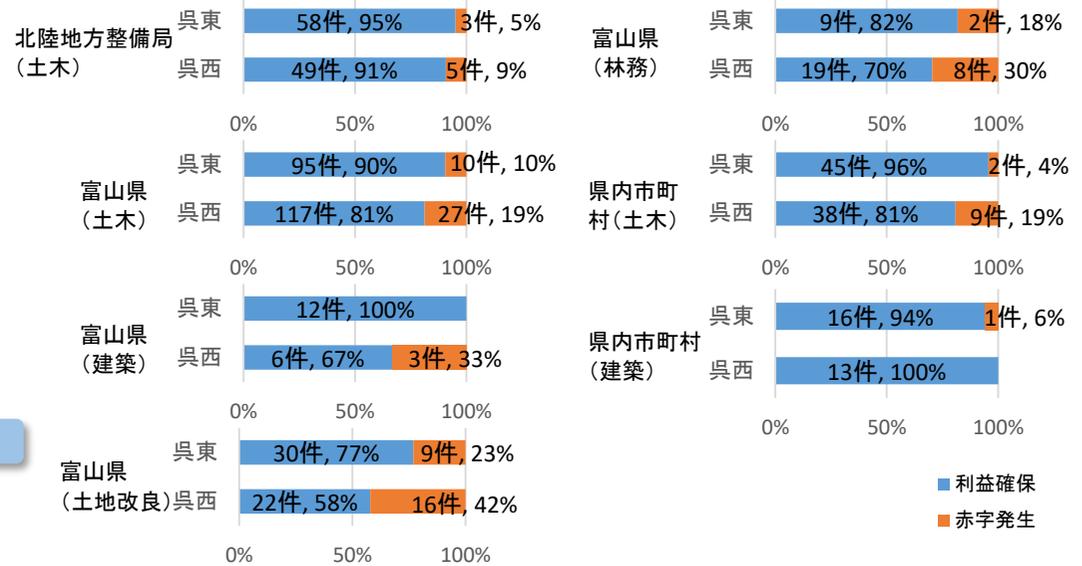


令和6年度 発注者別工事採算性に関するアンケート結果(呉東呉西の比較)

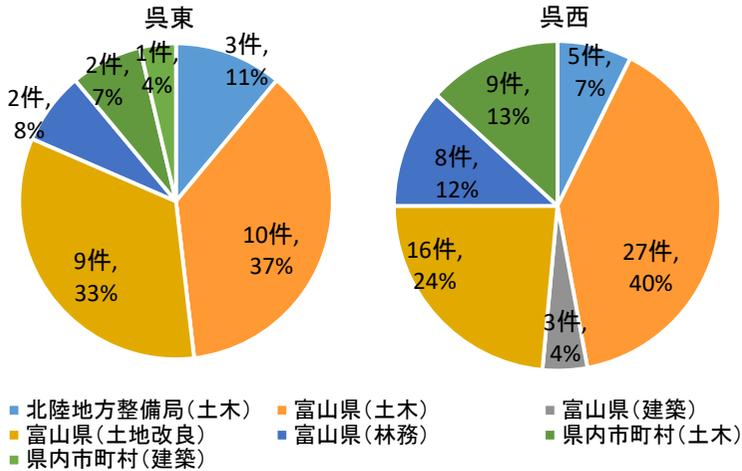
①調査対象工事の状況(呉東 292件、60社、 呉西 332件、58社)



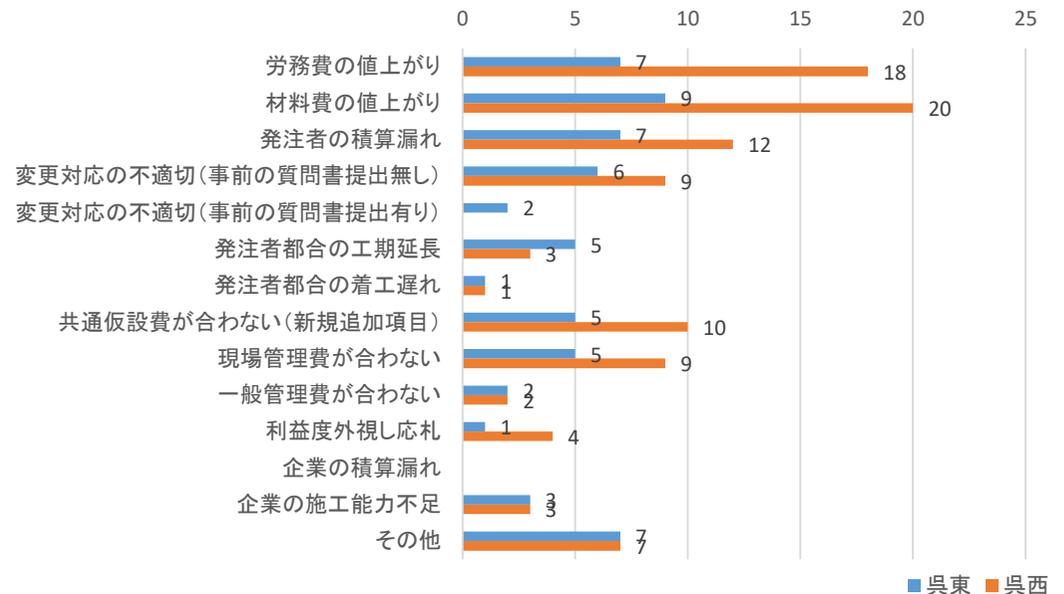
③発注者別の採算状況(624件、118社)



②赤字工事の内訳(呉東 27件、21社、 呉西 68件、25社)

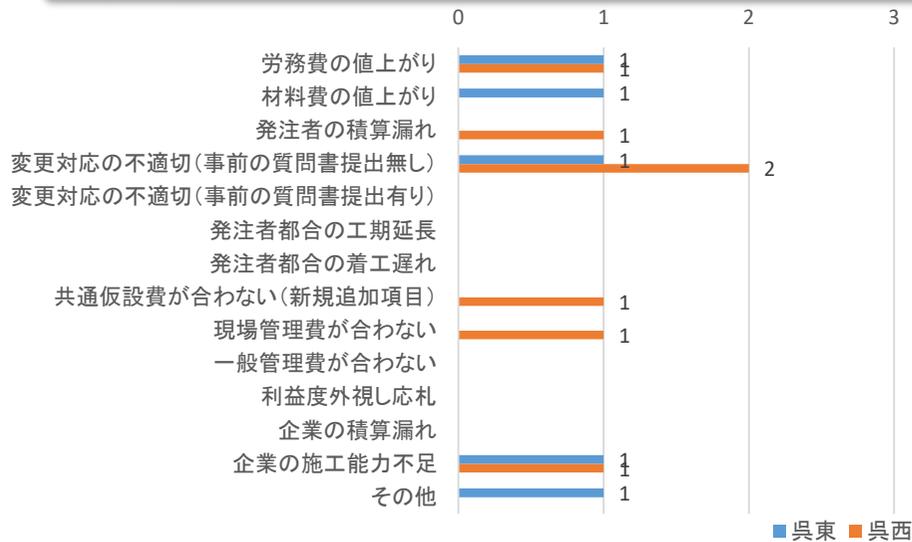


④赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)

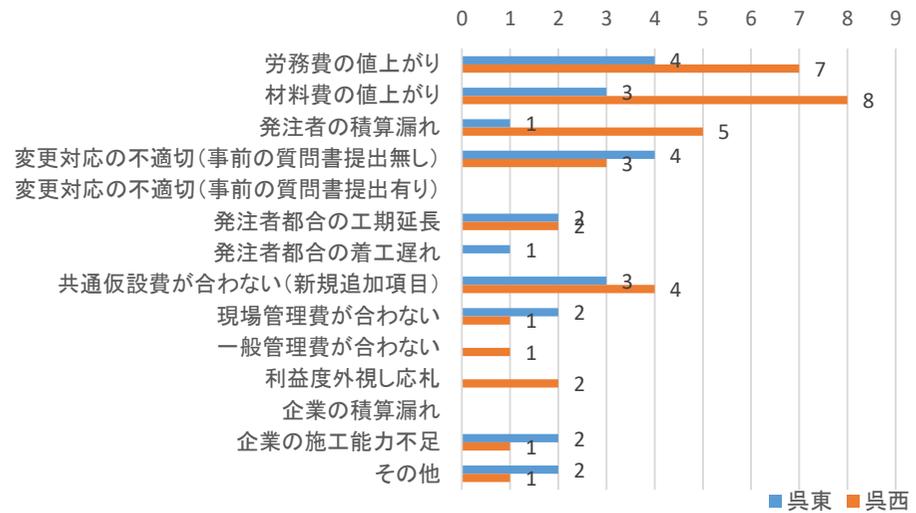


令和6年度 発注者別赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)(呉東呉西の比較)

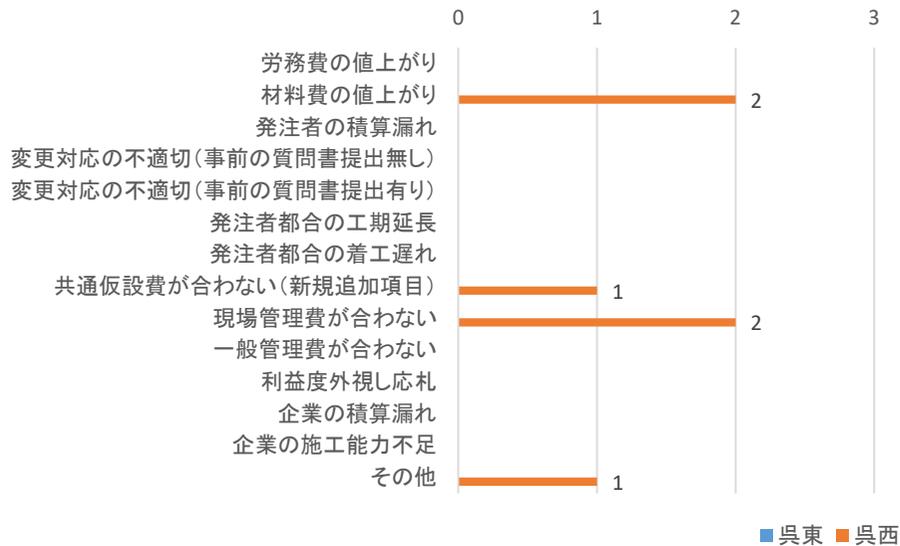
北陸地方整備局(土木) 赤字発生 呉東 3件、呉西 5件



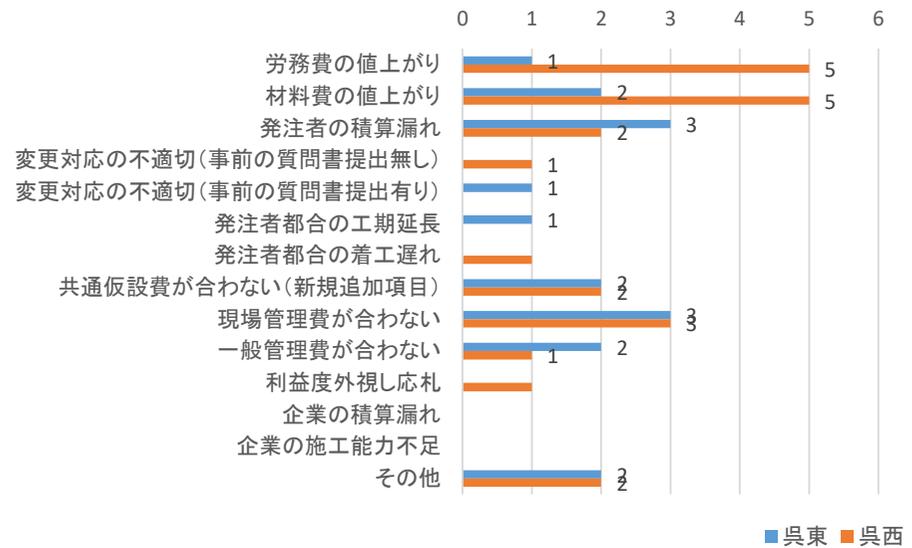
富山県(土木) 赤字発生 呉東 10件、呉西 27件



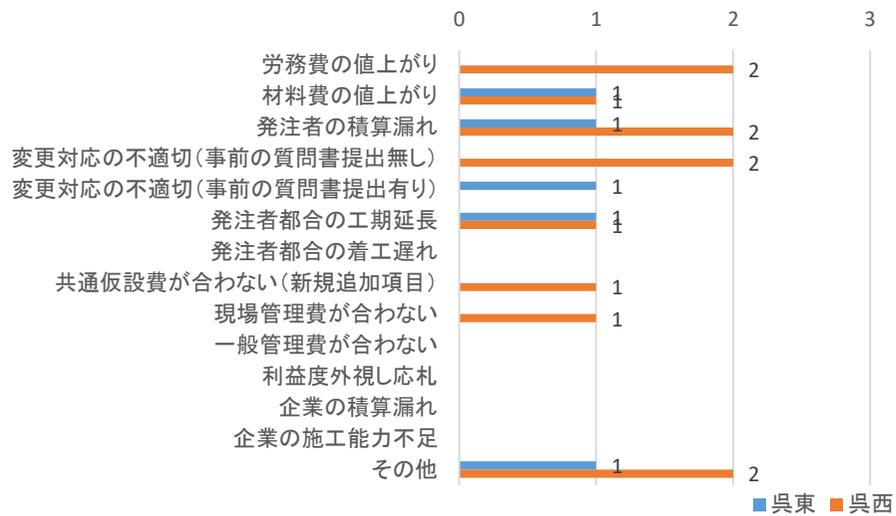
富山県(建築) 赤字発生 呉東 0件、呉西 3件



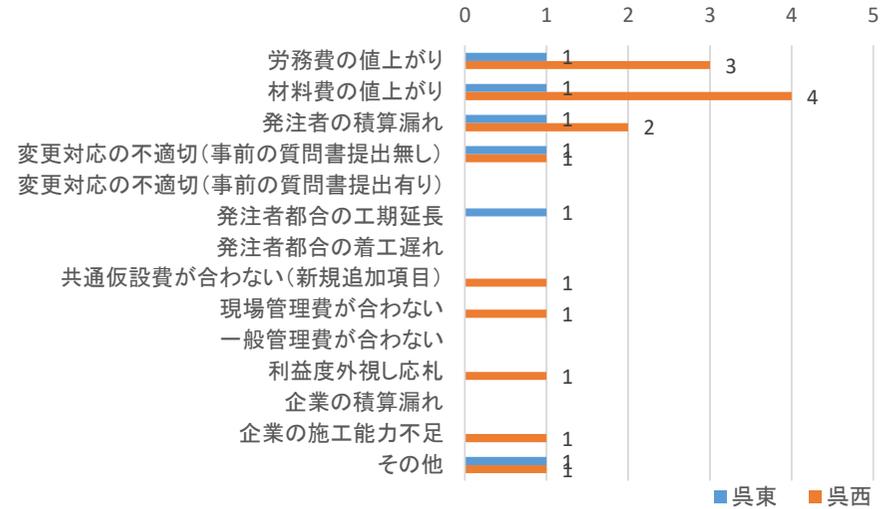
富山県(土地改良) 赤字発生 呉東 9件、呉西 16件



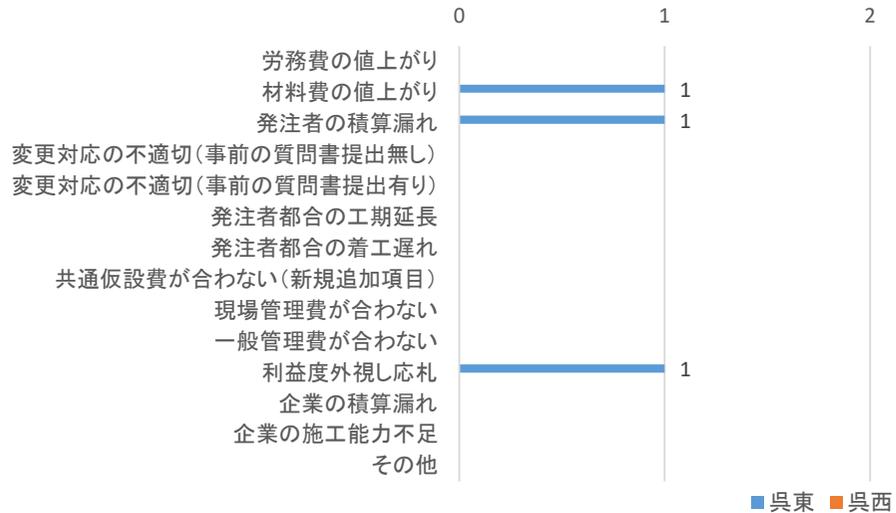
富山県(林務) 赤字発生 呉東 2件、呉西 8件



県内市町村(土木) 赤字発生 呉東 2件、呉西 9件



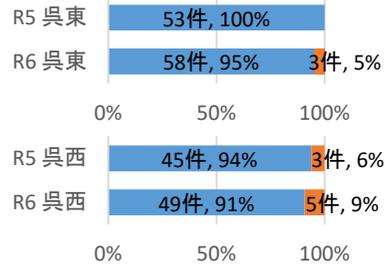
県内市町村(建築) 赤字発生 呉東 1件、呉西 0件



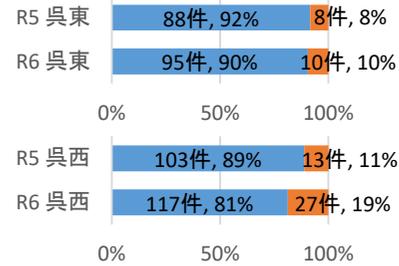
発注者別工事採算性に関するアンケート結果(令和5年度と令和6年度の呉東呉西比較)

①発注者別の採算状況

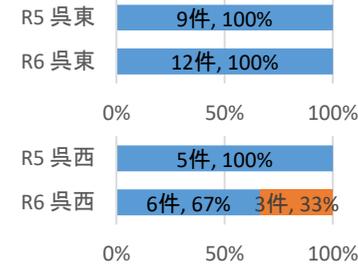
北陸地方整備局(土木)



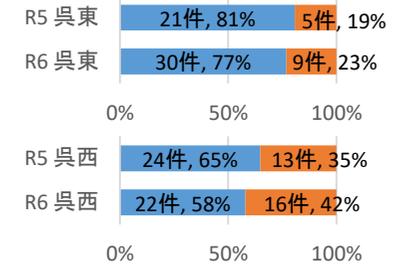
富山県(土木)



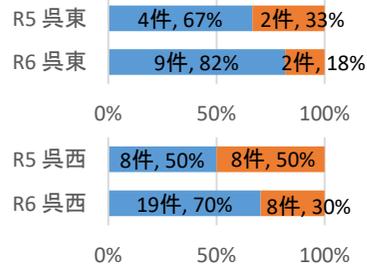
富山県(建築)



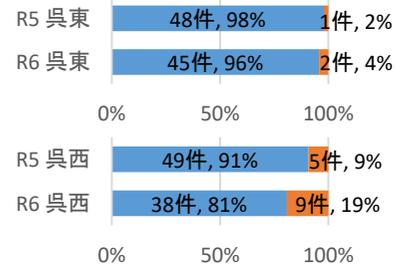
富山県(土地改良)



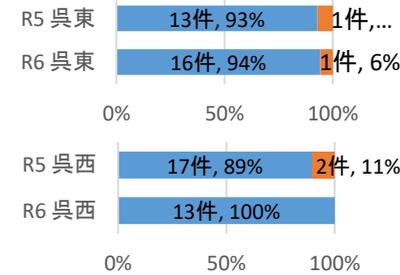
富山県(林務)



県内市町村(土木)



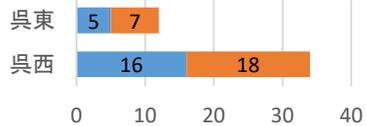
県内市町村(建築)



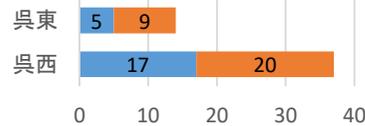
■ 利益確保
■ 赤字発生

②赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)

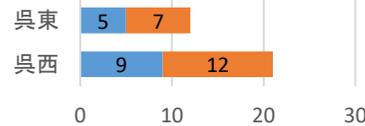
労務費の値上がり



材料費の値上がり



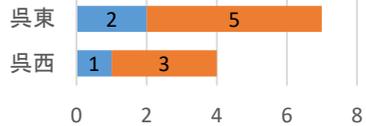
発注者の積算漏れ



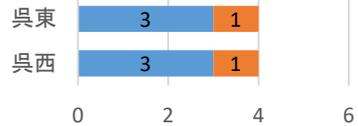
変更対応の不適切



発注者都合の工期延長



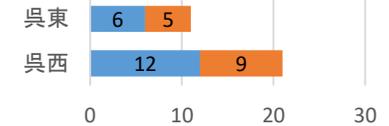
発注者都合の着工遅れ



共通仮設費が合わない(新規追加項目)



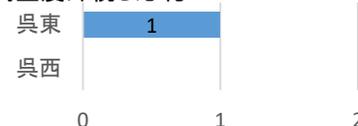
現場管理費が合わない



一般管理費が合わない



利益度外視し応札



企業の施工能力不足



その他

